

# 読者ひろば

## 主張 提言

高谷和生<sup>59</sup>

〓ボランティアガイド

(玉名市)

菊池恵楓園で5年前から、ボランティアガイドを続けている。昨年5月、ハンセン病市民学会熊本集会には、運営ボランティアとして参加した。直前に熊本大医学部の前身となる熊本医科大学によるハンセン病患者骨格標本問題が持ち上がった。会場に衝撃が走

### 骨格標本問題 実相究明を

り、直ちに、真相究明を求める緊急アピールが採択された。

先日、熊本大調査委員会か

らの調査報告の記事を読んだ。一部は理解できる内容ではあったが、全容解明には程遠く、到底緊急アピールにこたえる内容ではなかった。入所当初に求められた解剖同意書を根拠としての「患者未承諾での標本作製」、医学倫理が問われた研究コレクションとしての「供覧誇示」などは予想された内容であった。ただし最もアピール文で要求した、事実関係検証の前提となる解剖事例を「資料が膨大で調査が困難」と園側が

回答するなど、全容を解明する責任を放棄したものである。

また、学問的には病者自体の骨格変化を考慮しない「不完全な研究」視点も新たに示されたが、骨格標本研究の意味性や医学倫理の欠如を、現在にどう問いかけ医師と入所者との新たなガイドラインを作成するのかは述べられていない。

誤った隔離を進めた国は、他療養所でも同様の事例解明が必要である。また、大学には丁寧で真摯な真相解明を求めたい。死者を冒瀋してはいけない。

「読者ひろば」への一般投稿、若者コーナーは4500字程度、主張・提言は6000字程度。◇欄外に郵便番号、住所(アパート・マンション名も)、氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直す◇ことありま。◇原稿は返却しません。二重投稿、採

#### 投稿される方へ

否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用。掲載分には薄謝を送ります。あて先は①郵送〒860-0855 06、熊本市中央区世安町1-7-2、熊日「読者ひろば」係②ファクス 096(3)63(1)2608③Eメール hiroba@kumanichi.co.jp